

伸びよう 伸ばそう 青少年

～大町市青少年育成市民会議～

第41回青少年育成市民大会開催

第41回大町市青少年育成市民大会が8月23日（土）にサン・アルプス大町ならびに周辺施設で開催されました。約130名近くの市民の皆さんが参加され、全体会・分科会を通して青少年の健全育成の機運を高めることができました。



1、青少年健全育成の功労者を表彰

大町市の青少年健全育成に功績のあった8名の方と1団体に会長の牛越市長から賞状の授与がありました。受賞された皆さんは次の通りです（敬称略）。

＜個人＞・栗林伊佐男・中島範幸・川上 満・百瀬泰慶・竹村光吉・平林みえ
・土屋 明 ・ギリック詠子

＜団体＞大町東小学校読み聞かせボランティア



2、分科会の実施

本年度も4つの分科会が開催され、各分会では子ども達を取りまく喫緊の課題について、グループ討議が熱心に行われ、理解や支援への意識を高めることができました。

第1分科会 テーマ：心身ともに健康で、子どもたちが自ら体力・運動能力を高めていくための支援のあり方

○元気アップ運動の様子や指導・支援の成果について画像を使って紹介され、また、実際に体を動かすことを通して理解を深めていました。5グループそれぞれが和やかな雰囲気の中でグループ討議が実施されました。

○自分の体を知り、そこから目標を据えて取り組むこと、また、日常的になってきている子どもの送迎について、その長短を理解して場合に応じて行うことの大切さを共通理解していました。



第2分科会 テーマ：子どもの居場所と、地域・学校との関り

○参加者の希望により昨年度に引き続き開催された分科会でした。グループの年齢層や知見が様々で討議の差もありましたが、和やかな雰囲気の中で、様々な視点・立場から意見がだされ、どのグループも熱心に討議されていました。

○子どもたちの居場所について、周りの大人や地域がどのような意識を持って関わっていけばよいのか、小学生は生き方を、中高生には働き方を学ぶような居場所などについていろいろな意見交換が行われました。



第3分科会 テーマ：ネット社会で生きる力を育むために

○提案者のお話は4年目になりますが、ネット社会に潜む諸問題について、具体的なデータや資料から、どのように子ども達を育てていけば良いのか、5グループに分かれて話し合いが行われました。

○情報機器使用の現状と今後の課題について、参加者の理解や危機感が高まり、依存症をはじめ危惧する事を伝える機会の必要性和大人の関わり方が話題になりました。特にAIの活用についてどう取り組むかを学びました。



第4分科会 テーマ：心身の健やかな成長を促す乳幼児期からの食育について

○乳幼児期の食育について多くの保護者が悩みを抱えている中、特に相談の多い「噛むこと」に視点をあて提案がなされ、グループ討議が行われました。実際に噛むことを体験し、噛めない子どもの増えてきている要因や背景、その対応などについて話し合いがおこなわれました。

○噛まなくなった（噛めなくなった）要因を様々な立場から意見交換ができ、また、食育に関わり皆で「楽しく食事をする」ことがあらゆることの向上に繋がっていく事などを共通理解していました。

